

令和4年度分 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達総合支援センター 保護者等数(児童数) 72人 回収数 32人 割合 44.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94 (%)	3 (%)	3 (%)		◆屋外での訓練も出来るようになったらもっと良いと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	72	16	12		◆言語の先生を増やして欲しい。 ◆クール制などなく、もっと自由に訓練が選択出来ると思う。 ◆言語聴覚士さんを増やして欲しいです。 ◆専門職員の人数が少ない為、月に一回しか通えない。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94	6	0		◆床は滑りやすいと思う。肢体不自由の子には少し不便なところもあると思います。 保護者が外から観察する場合、小窓の所に椅子があると良いです
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	88	9	3		◆訓練終了後少し先生と話せると良いと思います。例えば、30分訓練、後10分はお話とか。家庭により変える。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88	9	3		◆この課題は、この目的があって行っているなどもっと保護者に分かりやすく説明して頂けると良いと思う。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22	50	28		◆リハビリしてすぐ帰るので(いいえ) ◆コロナ下では慎重にしないといけないので、なくても仕方ないと思う。 ◆課外活動も、そだちの行事としてもっとあると良いと思います。昔は運動会とか鈴鹿サーキット行くとかあって、他の保護者さん達との交流ももっとあったから。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91	6	3		◆説明は丁寧だけど、支援者の今目指している目標があったら教えてほしいです。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	88	9	3		◆とてもよくしていただいています ◆もっとお話出来ると良いと思う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	91	6	3		◆色々話聞いてもらって アドバイスもしてもらっています ◆いつも丁寧に話を伺えて、親子共に利用させていただくこと楽しみにしています。ありがとうございます。 ◆定期的に行われるともっと良いです。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	37	37		◆特別支援学校でもそうであるように慎重に検討する必要があると思う。 ◆父母の会の活動はされていないと思う。全く交流できていないから、もっとそだちの丘としての行事、イベントを企画して、保護者間交流出来る場を増やしてほしいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	69	25	6		◆何か、?マークがある時は、とても迅速に対応して頂いていると思います。ありがとうございます。 ◆分からない。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94	3	3		◆もっと定期的に行われるともっと良いと思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	72	22	6		◆活動や行事は、把握できていません。もっと発信してほしいです。
	14	個人情報に十分注意しているか	84	16	0		◆他のお子様の情報は一切入ってこない ので、できていると思います。
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	69	22	9		◆訓練中に大地震があった場合などの避難の仕方は、全く聞かされていない。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	41	44	15		◆そだちの丘に通い始めて、6年、一度も避難訓練はした事ないです。方法なども説明されていないので、訓練途中でいいので、サプライズで警報器鳴らして、した方が良くと思います。すぐそこまできていると思うし、南海トラフ地震はいつ起こるか分からない。子どもによっては、パニックになる子もいると思うけど、それが災害です。街中で災害に遭う事思ったら、そだちの丘などの支援施設でパニックを保護者も経験しておいた方が良くと思います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	88	9	3		◆いまは利用してない ◆すごく楽しみにしています ◆いつも走り込んでいくので、楽しみにしていると思います。 ◆本人は訓練の重要性は十分理解しているが、高学年になり学校から帰宅して疲れていたりすると行きたくないモードになる時もある。
	18	事業所の支援に満足しているか	88	9	3		◆大満足です。あと2年なので寂しいです ◆クール制などなくもっとたくさん、自由に訓練出来るともっと良いと思います。 ◆毎年毎年 利用登録票を1から書かされる事はおかしい。変更点のみで良いはずだが、なぜか 全て書く必要がある。意味が分からないし 双方に無駄が多すぎる。やめてほしい。心より願っている。

【今後の対応について】

(環境・体制整備)

- ・屋外活動について、可能な限り取り入れてまいります。また、フローリング床は、人体に影響のない、滑りにくいワックス塗布を行っております。
- ・職員の配置については、令和5年度に新たに言語聴覚士(ST)を採用しました。今後も適正な人員配置に努め、必要とされる専門性を生かした療育・発達支援を図ってまいります。

(適切な支援の提供)

- ・支援の目的や内容について、保護者の方の希望があれば、その都度、担当者にお声がけいただければ、できる限り時間を設けてお話をお伺いするよう努めてまいります。

(保護者への説明等)

- ・保護者に対しての面談は、担当者が個別に面談をする機会を設け、保護者の方の思いや希望、悩みを共有できるようにしています。また、希望があれば、その都度、できる限り時間を設けてお話をお伺いするよう努めてまいります。
- ・保護者同士の連携については、今後も、同じ思いや悩みを持つ保護者の方を支援できるよう保護者向けの講演会の開催等を検討してまいります。
- ・情報発信の方法については、令和4年度から導入した保護者連絡用ツール「tetoru(アプリ)」でも、行事等を掲載した「そだちの丘だより」を配信しています。今後も、保護者の方へのご案内やご連絡等に、より活用を図ってまいります。

(非常時等の対応)

- ・非常時の避難訓練は、年2回職員のみが参加して実施しています。非常時に利用者や保護者の方を安全に避難誘導できるよう、職員の配置や避難経路の徹底等を強化するとともに、災害発生時の行動、避難経路等について、よりわかりやすい周知徹底に努めてまいります。

(満足度)

- ・利用登録票については、お子さんの最新の情報を把握することで、より適切な支援につながると考えています。記載内容については、今後検討してまいります。